



消費者、業界一体となって情報や意見が交換された第1回懇談会

物産の値上げ・不足など、私たちの日常生活に大きな打撃が感じられるところですが、市では消費者、業界、関係機関などが一体となって対策を考え合う場「新津市生活関連物資対策懇談会」を、先ごろ発足させました。

この会合では、市民生活に

消費者、金融機関、婦人団体、商店街の関係者、市議、関係行政機関のそれぞれの代表者などで構成されています。

また、消費生活の実態について、市生活関連物資対策懇談会の初会合が、二月十八日、商工会議所で開かれました。

この日、市内の消費者、スーパー、石油、紙、食品業界の代表者をはじめとした関係者など三十人が参加し、つづ込んだ話し合いがもたれました。

開会に先立ち市長は「市でも物価の適正化という問題について、すでに対策本部をもつて取り組んでいます。この懇談会の発足を契機に今後とも良い方策を考えたい。またモニター制度もとり入れ、物価の値上がりや市民のみなさんとお互におさし



表具
鈴木一心堂

一級技能士 法定防火塗装工事店 本町3-2-2035
訓練指導員 建設業登録店

高騰物資を追放

市民生活の安定はかるう

市生活関連物資対策懇談会が発足

消費生活モニター制度も新設

関連性の高い物資について、その価格などの情報や意見を交換して、市民生活の安定をはかっていくというものです。

懇談会は、市内の各種業界、消費者、金融機関、婦人団体、商店街の関係者、市議、関係行政機関のそれぞれの代表者などで構成されています。

また、消費生活の実態について、市生活関連物資対策懇談会の初会合が、二月十八日、商工会議所で開かれました。

この日、市内の消費者、スーパー、石油、紙、食品業界の代表者をはじめとした関係者など三十人が参加し、つづ込んだ話し合いがもたれました。

開会に先立ち市長は「市でも物価の適正化という問題について、すでに対策本部をもつて取り組んでいます。この懇談会の発足を契機に今後とも良い方策を考えたい。またモニター制度もとり入れ、物価の値上がりや市民のみなさんとお互におさし

ました。

懇談会では、消費者、業界などから、いろいろな意見や質問、実情などが交換されました。

消費者側から出された主なものでは、

○価格をばりかえて高値で売っている。

○品不足が原因か、売ってやらない考えかがあるように思う。

○物資によっては価格の暴騰があり、良心的な店を選んで買わなければならないことがある。

○米を配達してもらおうと袋代もとられる。せめて袋代ぐら

いはならないようにならないか—などがあり、生活の中での切実な声がきかれました。

また、小売業者も消費者と同様、商品仕入れ値があがり被害者である—など、小売業者ばかりでなく、市の側面の協力で消費者と一体となって大手メーカーへの働きかけが大切なのではと建設的な意見が集約されました。そして、今後は卸売り、生産者とも懇談を重ね、価格安定のための流通経路のはづかし、方策を進めていかなければならぬいかなどが確認されました。

おやすみ前に
クインテスナイトクリーム

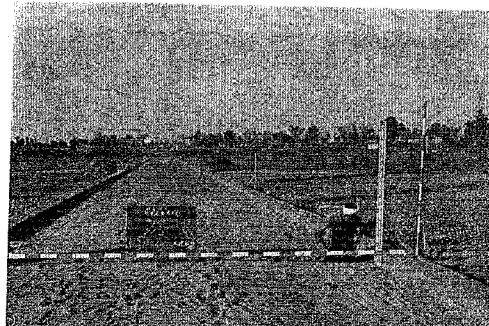
本町2丁目 TEL (2) 0418

マツヤ

第四銀行が向い。北越銀行がとなり

市内の交通緩和に進む事業計画

—新津バイパス・生活道路の建設も急ピッチで—



将来の市民生活を考えた大きな事業が、いま市にはいろいろとすすまれています。

○市民生活から水害を避けるための能代川分流事業

○新津バイパスや農道整備など、交通緩和を考えた道路の建設—と

ですがこれらの事業計画を進めていくには、それに必要な用地がいろいろと必要になります。その用地確保一つをとっても、関係地

域のみなさんの理解と協力が欠かせない要件です。

このため市では、県と協力して「住みよい新津」の建設をめざし、関係者の力をかりながら、積極的に対話をつづけて、これらの事業計画には、積極的な理解と協力を得ることができました。そして用地買収も明らかな見込みとなりま

能代川分流事業では、昭和五十五年の通水をめざし、ま

「程島農道」今年完成

下興野—東町線は今月中旬

た、新津バイパス事業も一部では工事を始めるまでに近づきました。

なかでも市内の通過車を減らし、交通緩和を考えた道路の建設計画は、大きく進展しています。

道路農道の建設といえば、昨年の七月号紙上でお知らせした「広域農道事業」がありすが、これは別にいま市では「一般農道整備事業」をすすめています。

この一つ、市民会館から津島地区を結ぶ農道「程島農道」といっているものですが、この農道建設を市の農道整備計画にもとずき、県からも補助金をもらって、昭和四十七年度からとりかかっています。そして、いよいよ今年で完成の年を迎え、四十九年度工事は、上層路盤と舗装工事を残すだけとなりました。

総事業費はおよそ七千三百万円、道路の幅は六メートル（将来は七メートルに広げる計画）で、延長は約二百七十五メートルもの立派な道路が完成します。

また、東島地内の信越線を越えたところから市民会館までは、一直線の舗装路線ができ、きつと大ぜいの市民のみなさんから利用され、喜んでもらえるものと思います。

それにこの道路は、およそ沿線地帯六十ヘクタールの耕地と部落を結ぶ基幹農道として、農作業の近代化と能率向上に欠かせない重要な役割を果たし、同時に市民会館やその周辺の部落とを結び新たな連絡道路として、農村部の環境改善に役立つこととして、もう一つには、市民会館前の道路を経て、やがて新設される新津バイパス線に接続することにより、市街地の交通緩和に大きな効果をもたらすことはいふまでもないです。

こうした農道整備事業はほかに下興野—東町線がこの三月に完成が予定されています。また、七日町線も新たに工着の予定で、引き続き満願寺線、大鹿—三津屋線なども計画しています。そしてこれらの事業計画を市では市道—農道を問わず生活に直接結びつくものとして、最優先事業に取り上げ、積極的に進めていくものです。もちろん関係地域の方々の理解と協力のうえで事業が進められるだけに、今後の計画事業にもいっそうこの協力をお願い



マイホームの資金づくりから設計施行まで…
高級木造住宅設計・施行

新瀬建設株式会社

新津市役所となり TEL ②7151